



1 放送による問題 [A] [B] に答えなさい。

[A] (1)~(5)の対話を聞いて、最後の文に対する応答として最も適切なものを放送される a~c の中から一つ選びなさい。対話はそれぞれ1度だけ読まれます。

[B] 東京に2週間研修に来ていた留学生のお別れのスピーチを聞いて、以下の問いに答えなさい。スピーチは2度読まれます。

Question 1 彼が和菓子に驚いたのはなぜですか。日本語で説明しなさい。

Question 2 「おいでさん」とはどのような人のことですか。20字以内の日本語で説明しなさい。

Question 3 「おいでさん」が英語を学んでいる理由を日本語で答えなさい。

Question 4 次のうちスピーチの内容と一致するものをすべて選び、記号で答えなさい。

- a. He has been to a lot of foreign countries.
- b. He didn't know how to go to school when he came to Japan.
- c. An Oide-san knows good places to eat.
- d. He will join "Oide-san" in the near future.

- 2 以下のスウェーデン(Sweden)の廃棄物発電(waste-to-energy)についての英文を読み、あとの問いに答えなさい。* が付いている語句には(注)があります。

What is Sweden famous for? Have you ever heard that Sweden is famous for ①its energy *policies?

In Sweden, *renewable energy covers more than half of the total energy *supply. It covers only about 10% in Japan. The *government of Sweden has been working hard to cover all the energy supply with renewable energy by 2040.

In 1990s, 50% of *household waste was sent to *landfill. It is *surprising that only 1% of household waste goes to landfill now. Half of the other 99% is recycled, and the other half is *burned to produce electricity. ②Household waste is something useful. All the *cost is paid by the *companies that made the *products.

This waste-to-energy works so well that now it is difficult to get enough waste in their country. To solve ③this problem Sweden has decided to get waste from other countries.

The first *waste-to-energy plant in Sweden started working more than 100 years ago, in 1904. Around the world, there were not many people who worried about *the environment at that time. People were more interested in making things that would make our lives (④). For example, cars and planes were made in the early 20th *century. We became able to travel faster. Since then, Sweden has been working hard to protect the environment. The leader of the company that has 32 waste-to-energy plants in Sweden says, "We want the world with zero waste."

Do you think his dream will come true?

(注) policy : 政策 renewable energy : 再生可能エネルギー supply : 供給
 government : 政府 household waste : 家庭ごみ landfill : 埋立地
 surprising : 驚くべき burned : burn (燃やす) の過去分詞 cost : 費用
 company : 会社 product : 製品 waste-to-energy plant : 廃棄物発電所
 the environment : 自然環境 century : 世紀

- 問 1 下線部①が掲げる目標を日本語で答えなさい。
- 問 2 下線部②と言えるのはなぜか、日本語で答えなさい。
- 問 3 下線部③の具体的な内容を日本語で答えなさい。
- 問 4 自然な文脈になるように、(④)に適切な英単語を1語入れなさい。

- 3 以下の英文は、「私」がおもちゃ屋で出くわしたある出来事の回想である。英文を読み、あとの問いに答えなさい。* が付いている語句には（注）があります。

I was doing some Christmas shopping in a toy store and decided to look at *Barbie dolls for my daughter. A nicely-dressed little girl was *excitedly looking through the Barbie dolls, with money in her little hand. When she found a Barbie she liked, she turned and asked her father, "Do I have enough money to buy this doll?" He usually said "yes," but she kept looking and doing the same thing. While she was looking, a little boy came and started looking around the *Pokemon toys. He was dressed *neatly, but the clothes was *worn and looked too small for him. He, too, had money in his hand, but it looked only around five dollars or so. He was with his father, and kept picking up the Pokemon video toys. Every time he picked one up and looked at his father, his father *shook his head, "no."

The little girl chose her Barbie, a beautifully-dressed doll that any girl would love. However, she was watching the ①interchange between the little boy and his father. *Disappointed, the boy *gave up on the video games and chose a Pokemon book. He and his father then started walking through another *aisle of the store.

The little girl put her Barbie back on the shelf, and ran over to the Pokemon games. She excitedly picked up one that was on top of the other toys, and *raced toward the *check-out, after speaking with her father.

I chose a Barbie and *got in line *behind ②them. Then, the little boy and his father got in line behind me. After the toy was *paid for and *bagged, the little girl handed it back to the *cashier and ③said something in her ear. The cashier smiled and put the bag under the counter.

I paid and was looking around when the little boy came up to the cashier. The cashier *rang up his *purchases and then said, "Congratulations, you are my hundredth customer today, and you win a prize!" She handed the little boy the Pokemon game, and he could only *stare in disbelief. It was, he said, exactly the thing which he wanted.

The little girl and her father were at the *doorway during all of this, and I saw the biggest, and prettiest *grin on that little girl that I have ever seen in my life.

As I walked back to my car, I heard the father said to his daughter, "Why did you ④do that?" "Daddy, did Grandma and Grandpa want me to buy something that would make me happy?" He said, "Of course they did, honey." The little girl answered, "Well, I just did!"

(Heart and Mind Lesson 4 / エスト出版 による)

- (注) Barbie: バービー (人形) excitedly: わくわくして
Pokemon: ポケットモンスター (アニメ) neatly: 小綺麗な worn: 着古した
shook: shake (首を振る) の過去形 interchange: やり取り disappointed: がっかりして
give up on: 諦める aisle: 通路 raced: race (走る) の過去形 check-out: レジ
get in line: 列に並ぶ behind: ~の後ろに paid: pay (支払う) の過去形・過去分詞
bagged: bag (袋に入れる) の過去形・過去分詞 cashier: レジ係
ring up: ~の金額をレジに入力する purchase: 購入品
stare in disbelief: 信じられずにじっと見つめる doorway: 出入り口
grin: ニカッとした笑い

問 1 下線部①の具体的な内容を日本語で答えなさい。

問 2 下線部②の指すものを日本語で答えなさい。

問 3 下線部③で少女は何と言ったと考えられるか。10語程度の英語で答えなさい。

問 4 下線部④について説明した次の文の空欄 (a) ~ (c) を埋めなさい。

女の子が (a) , そのお金で (b) のは、 (c) からだ。

4 次の日本語を英語にしなさい。

- (1) そのニュースを聞くと、彼女は怒るかもしれない。
- (2) 毎日5マイル (mile) 歩くことは、あなたの体をより強くします。
- (3) 今日、君たちは、日本でどれだけの石油が使われているかを学びます。
- (4) 山本博士 (Dr. Yamamoto) が書いた本を生徒が理解することは難しい。

5 中学校・高校の家庭科の授業で行う調理実習についてあなたはどのように思いますか。あなたの考えを50語以上の英語で書いてください。なお、下の枠内の語句は必要に応じて用いて構いません。使用語数を最後に明記すること。但し、記号は語数に含めません。

中学校 : junior high school 高校 : senior high school 家庭科の授業 : home economics class 調理実習 : cooking practice

1	[A]	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	Q1	
	[B]	Q2						
	Q3						20	
	Q4							

4	(1)	
	(2)	
	(3)	
	(4)	

2	問 1	
	問 2	
	問 3	
	問 4	

5		[] words

3	問 1	
	問 2	
	問 3	(a)
	問 4	
(c)		

1 次の ～ にあてはまる数, 式を答えなさい。

(1) 次の空欄にあてはまる式を求めなさい。

$$12xy^3 \div (2xy)^2 = \text{ア} \times (-x^2y)$$

(2) 2次方程式 $x^2 + 14x - \text{イ} = 0$ の2つの解は, $x = -18$ または $x = \text{ウ}$ である。

(3) $\sqrt{375 - 3n}$ の値が整数となる最小の自然数 n の値は $n = \text{エ}$ である。

(4) 1から8までの数字が書いてある玉が1つずつ入っている袋Aと, 1から6の目が出るさいころBがある。袋から無作為に1つ玉を取り出したとき書かれている数字を a , さいころを振ったときに出た目を b とする。 $\frac{b}{a}$ が整数である確率は , $1 < \frac{b}{a} < 2$ である確率は である。

(5) 40人のクラスで, 数学の小テスト(10点満点)を行ったところ, 次のような結果になった。

最頻値が7点のとき, a のとりうる値の範囲は, $\leq a \leq$ (a は整数) である。

得点 (点)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
人数 (人)	0	0	0	0	2	3	7	a	b	9	4	40

平均点が7.4点であるとき

a の値は, $a = \text{ケ}$ である。

(6) A君の自宅から学校までの距離は1.4kmで, その途中にB君の自宅がある。

ある朝, A君とB君が同時に自宅を出て学校へ向かった。A君は毎分80mの速さで歩き, B君は毎分60mの速さで歩いたところ, B君の自宅から学校までの中間点でA君がB君に追いつき, そのあとA君とB君は同じ速さで一緒に学校へ行った。2人が自宅から学校に到着するまでの時間は22分であった。

B君の自宅から学校までの距離は km であり, A, B君が出会ってから学校まで一緒に歩いた速さは毎分 m である。

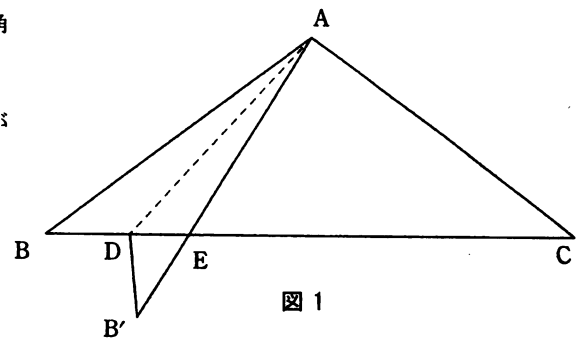
- 2 2つの水槽A, Bがあり, それぞれ下の表のように一定の割合で水槽に水を入れる給水口と, 一定の割合で水槽から水を出す排水口がついている。最初はどちらの水槽にも150Lずつ入っていて, 排水口は閉じている。この状態から排水口を開き, 30分後に再び閉じる。この間, 排水口は開いたままである。

	給水口	排水口
水槽 A	水量が30Lまで減ると自動的に毎分30Lで給水が始まり 水量が150Lになると止まる	毎分10L排水する
水槽 B	水量が30Lまで減ると自動的に毎分50Lで給水が始まり 水量が150Lになると止まる	毎分30L排水する

このとき, 次の問いに答えなさい。

- 水槽 A において, 排水口を開いてから x 分後の水量を y L としたときに, x と y の関係を表すグラフを, x の変域が $0 \leq x \leq 30$ の範囲でかきなさい(グラフに関する式は答えなくてもよい)。
- 水槽 B において, 排水口を開いてから x 分後の水量を y L としたときに, x と y の関係を表すグラフを, x の変域が $0 \leq x \leq 30$ の範囲でかきなさい(グラフに関する式は答えなくてもよい)。
- 水槽 A, B において, 同時に排水口を開いてから, はじめて同じ水量になる時間を求めなさい。

- 3 右の図1のように, $AB=AC=5\text{cm}$, $BC=8\text{cm}$ の二等辺三角形 ABC があり, 辺 BC 上に $BD=1\text{cm}$ となるように点 D をとる。線分 AD を折り目として $\triangle ABD$ を折り返すとき, 点 B が移った点を B' , 線分 AB' と線分 CD の交点を E とする。このとき, 次の問いに答えなさい。



- $\triangle EAC$ と $\triangle EDB'$ が相似であることを示しなさい。
- 線分 AD , DE の長さをそれぞれ求めなさい。

- 4 右の図2のように、1辺の長さが1cmの正方形を底面とし、
 $OA=OB=OC=OD=1\text{cm}$ である正四角すいO-ABCDが平面Z上におかれている。面ABCDに垂線OHをひく。
 このとき、次の問いに答えなさい。

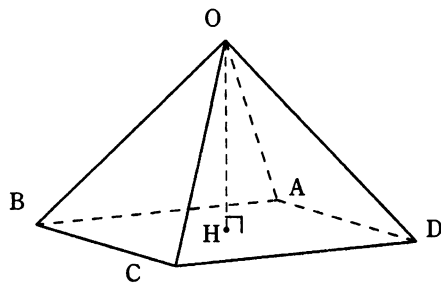


図2

- (1) 正四角すいO-ABCDの体積を求めなさい。
- (2) 右の図3のように、1辺の長さが1cmの正方形PQRSを平面Z上におく。点線で表されるように、最初、点Hが点Pの位置にあり、 $AB \parallel PQ$ をみたすように、正四角すいO-ABCDがおかれている。
 今、 $AB \parallel PQ$ の状態を保ちながら、点Hが正方形PQRSの辺にそうように、正四角すいO-ABCDが動く。
- (i) 点HがPからQまで動いたときに、正四角すいO-ABCDが通ってできる立体をTとする。立体Tの体積を求めなさい。
- (ii) 点Hが $P \rightarrow Q \rightarrow R \rightarrow S \rightarrow P$ と動いたときに、正四角すいO-ABCDが通ってできる立体をKとする。立体Kの体積は cm^3 である。
 空欄にあてはまる数を答えなさい。(答のみでよい。)

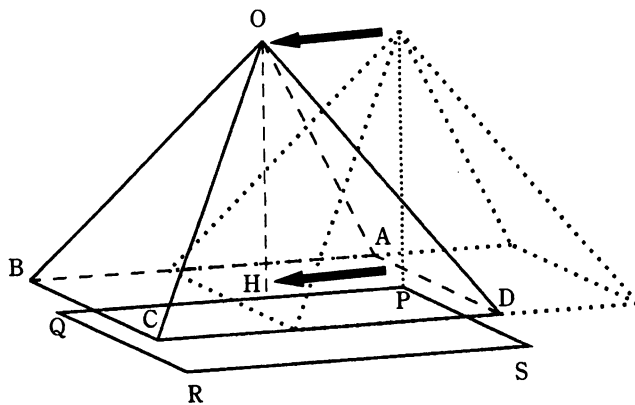


図3

1	ア	イ	ウ
	(1)	(2)	
	エ	オ	カ
	(3)	(4)	
キ	ク	ケ	
(5)			
コ		サ	
(6)			

2

(1)

(2)

(3)

3

(1)

(2)

4

(1)

(2)(i)

(2)(ii)

一 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

学習のとらえ方と活動の意味

これまで認知心理学では、人間の知的な営みについて、特に学習について、「知識獲得の行為」としてとらえてきました。「知識獲得」という言葉では、人間の心を容器と見立て、そこに材料である「知識」を注ぎ込むことが学習とされます。そしてこの「知識獲得」の概念は、あくまでも注がれる容器は「(ア)」のものであり、その行為自体も個人的なもの、したがって学習という営みは個人的なものとなります。

これに対し、近年の研究結果から、人間の学習を「知識の獲得」という個人的な営みではなく、対話やコミュニケーションから生まれるものであり、その時の状況や文脈とは切り離せないものであることが明らかになってきています。この学習論は一般に、状況的学習論と呼ばれています。そこでの学習とは、ある共同体の一員になる。カチイであり、その共同体における言葉を使い、その共同体における、トクタイの基準によって行動することができるようになることであるとしています。つまり、学習を個人の中で起こるものとはせず、共同体との社会的な関わりやその共同体の中に存在する様々なもの(人工物)との相互作用の中で生じるカチイだとするのです。

*1 スार्टは、^①従来の学習論の枠組みと状況的学習論の枠組みを、獲得メタファと参加メタファとして対比させています。

学習の目標は、獲得メタファでは、個人の持つ「知識」を豊かにすることであり、参加メタファでは、そこに学び合う共同体が構築されることとします。学習については、獲得メタファでは、あることを獲得することであり、参加メタファではその共同体の参加者となることです。獲得メタファの生徒は、知識を与えられる受領者であり、教師はその提供者となります。それが参加メタファでは、生徒は知識を再構築していく者であり、その共同体の周辺の参加者でもあります。そこでの教師は、生徒のそれらの行為を促す促進者であり、熟練の参加者(先輩)であり、その実践を見守っていく者でもあります。獲得メタファにおける知識や概念とは、所持するものであり、参加メタファにおいては、個人的・社会的にある共同体における実践や語りや活動を意味します。知っているということは、獲得メタファにおいては、所有していることとなりますが、参加メタファにおいては、ある共同体に所属することであり、参加することとなります。ものをつくるということを中心とした活動は、このような共同体の中に埋め込まれているものなのです。

近代の教育を支えてきたもの

近代の教育を支えてきた論理は、教育内容から構成されたカリキュラムでした。たとえば、科学を教えるためには、まず学ぶべき領域を先に規定し、その領域で重要な概念を簡単なものから、難しいものに並べていき、どれぐらいの時間をかけて学習をするのかを決めていきます。これが各領域で行われ、私たちの学習を全面的にコントロールしてきたのです。

しかし、^②このやり方は、学習者に学習の意味を提示することが難しいという欠点があります。「どうして今、これを勉強しなければいけないの?」という質問は、すべての人が一度は持つ疑問でありながら、^③納得する答えがほとんどできない難しい質問です。親や教師は、「これを勉強しておくと、大人になった時に役に立つ」と言いつつ、一種の約束。ツカタを切ることによってこの質問に答えることが多いのですが、実際にはすべての学習内容が大人になってから役に立っているのかどうか、怪しいところもあります(私たちは今まで習ったことのどれぐらいを覚えているでしょうか)。

この質問が難解である理由はある意味単純。メイカイで、そもそも教育活動を設計する際に、学習者にとつての意味が考えられてこなかったからです。ですから、正しい答え方は、「それは、あなたが見つけることなのよ」ということとなります。

ただ、これでは学習者に対してあまりに冷たいような気がします。それでは、活動という概念は、この学習の意味に対してどのような答えを投げかけてくれるのでしょうか。それは大きくわけて二つあります。

X 発見や創造的活動に埋め込まれている意味

ものを作ったり、何か新しいことを発見することは、それ自体がおもしろさを持っています。研究者や芸術家などは、このおもしろさにとりつかれて仕事をしているといつてもよいでしょう。ですから、このような教育内容が持つ内在的な魅力を、単純な記憶活動に還元するのではなく、活動の形で表すことによって、学習者は、それを学ぶ意味を見つけやすくなります。

Y 葛藤の中に埋め込まれている意味

何もかもがスムーズにいく活動はおもしろくありませんし、学ぶことも多くありません。学びが起きるためには、何かうまくいかないことを乗り越えるという「葛藤」の経験が必要になります。このような葛藤状況は、その中にいる時は苦しいのですが、後から振り返った時に学習者に学ぶことの意味を提供することができます。学ぶことが、何かの問題を乗り越えることで新しい段階に進むことに重要な意味を持っていることを理解することができるのです。

(中略)

活動は、知識や思考という栄養素が含まれていると同時に、それを学習者が取り入れることができるための「文脈」という水分もある豊かな土壌だと考えることができるかもしれません。このような豊かな土壌では、様々な形の学びが芽吹くことでしょう。

それに比べると、記憶や訓練に頼る学習は、栄養素を詰め込んだサプリメント（「ホジヨ食品」）のようなものです。サプリメントが必要な時もありますが、④サプリメントだけで豊かな実りを期待するのは難しいでしょう。私たちは、学ぶという活動そのものの豊かさを問い直す時期にきているのではないのでしょうか。

（美馬のゆり・山内祐平 『未来の学び』をデザインする』東京大学出版会より。本文に一部省略等がある。）

（注） *1 スファード……数学教育研究者。

問一 二重傍線部 a) e のカタカナを漢字に改めなさい。

問二 空欄（ア）に入る最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号で答えなさい。

- 1 一般 2 人間 3 個人 4 共同体 5 他人

問三 傍線部①「従来の学習論の枠組みと状況的学習論の枠組みを、獲得メタファと参加メタファとして対比させています。」とあるが、「獲得メタファ」と「参加メタファ」について対比できるよう、(A)～(H)に入る語句を本文中の言葉を用いて答え、表を完成させなさい。

学習メタファの対比

(A) メタファ	(B) メタファ
個人の知識の豊かさ	共同体の構築
(C)	(D)
(E)	共同体的参加者
(G)	熟達した参加者 (先輩)
所有物	(H)
所有しようとする こと	知ること
	共同体に属し、 参加し、コミュニ ケートすること

*上記の表は『未来の学び』をデザインする」の著者である美馬のゆり氏・山内祐平氏がスファード(1998)をもとに作成したものを一部編集したものである。

問四 傍線部②「このやり方」とあるが、どのようなやり方かを、簡単に説明しなさい。

問五 傍線部③「納得する答えがほとんどできない難しい質問」とあるが、その理由として最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号で答えなさい。

- 1 教育活動を考えるうえで、勉強をするということが当然のことであり、考える必要がないから。
- 2 教育活動で、先に規定されている学ぶべき領域の正否は判断できないから。
- 3 教育活動をする際には、多様化を重んじているため、一つの答えに限定する必要がないから。
- 4 教育活動を考えるうえで、学習者にとっての意味が考えられてこなかったから。
- 5 教育活動を考えるうえで、勉強する理由に正しい答えがあると考える必要がないから。

問六 傍線部④「サプリメントだけで豊かな実りを期待するのは難しい」とはどういうことか、簡単に説明しなさい。

問七 あなたは、なぜ勉強しますか。本文中に書かれている二つの学習の意味X・Yのどちらかを理由に選んで、解答欄(1)に、記号で記しなさい。次に解答欄(2)に、(1)で選んだ理由に合うように、自分の具体的な体験を記しながら、あなたの考えを書きなさい。

二 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

どれくらい経つてからかわからないが、叔父の声で目を覚ました。A 蚊帳がまだ蚊帳の上で光っていたから、どつちにしてもそう長い間ではなかったことは確かだ。

「……いいかい、母さん、おれは母さんが、親父が借金を残して死んだから学費が送れない、というから学校を中途で止してこゝへ戻ってきたんだ……」

① 叔父の声は震えていた。

「店を継いでくれないと食べては行かれないと母さんが頼むから *1 菓種業の試験を受けて店も継いだ。借金をどうにかしておくと母さんが泣きつくから必死で働いている。これだけ言うことをきけば十分じゃないか。これ以上おれにどうしろというんだよ」

「大きな声を出さないでおくれ。あの子たちに聞こえるよ」

「とにかく母さんの頼みは、願い下げたよ」

② 叔父の声が少し低まった。

「今年の事は裏の畑を手離さなくちや年が越せそうもないついでに、どうしてあの二人を引き取る余裕なんかあるんだ」

祖父はだいぶ大きな借金を残したらしかつた。それにしても裏の畑を手離すことになつたら祖母の冷し汁の味もすいぶん落ちるにちがいないと思つた。冷し汁に入れる野菜はもぎたてでないと美味しくないのである。

「子供二人の、食い扶持くらいどうにかなると思うんだけどねえ」

「そんなことを言うんなら母さんが店をやるとだ。 *2 菓九層倍なんていうけど、この商売、どれだけ儲けが薄いか母さんだつて知ってるはずだよ。とくにこんな田舎じゃ売れるのは *3 マーキエロか正露丸だ。母さんと二人で食っていくのがかつつかつたぜ」

「でも長い間とはいわない。あの子たちの母親が立ち直るまででいいんだから」

③ それがじつはいちばん腹が立つんだ」

叔父の声は前よりも高くなつた。

「あの二人の母親は親父の、 *4 葬儀の葬式にも顔を出さなかつたような冷血じやないか。そりやあの二人の母親は親父や母さんに苛められたかも知れない。でも相手がこの世から消えちまつたんだ。それ以上恨んでもはじまらないだろ。線香の一本もあげにくればいいじゃないか。向うが親父を許さないなら、そのことを今度はおれが許さない。おれはいやだよ。あの女の子どもの面倒なんて死んでも見ないよ」

「でもあの子たちはおまえの甥 *5 だらうが……」

*4 箱膳のひつくり返る音がした。

「そんなにいうんなら、なにもかも叩き売つて借金を払い、余つた金で母さんが養老院にでも入つて、そこへあの二人を引き取ればいいんだ。おれはおれでひとりで勉強をやり直す」

叔父の廊下を蹴る音が近づき、座敷の前を通つてその足音は店の二階に消えた。叔父は赤松が目の前に見える、店の二階の一番端の部屋で寝起きしているのだろう。

いまの話や弟が聞いていなければいいな、と思ひながら、弟の様子を窺うと、彼は大きく目を見開いて天井を睨んでいた。

「……ぼくたちは孤児院に慣れてるけど、ぼつちや養老院は初めてだよ」

弟はぼそぼそ口を動かした。

「そんなら慣れてる方が孤児院に戻つたほうがいいよ」

「そうだな」

とぼくも答えた。

「他に行くあてがないとわかれば、あそこはいいところなんだ」

蚊帳に貼りついていては、潮はいつの間にか見えなくなつてた。つい今し方の叔父の荒い足音に驚いて逃げだしたのだからとぼくは思った。

ぼくはそれから朝方まで天井を眺めて過した。これからは祖母がきつと一番辛いだろう。「じつはそろそろ帰つてもらわなくちや……」といういやな言葉をいつ口に出したらいいかとそればかり考えていなくてはならないからだ。店の大時計が五時を打つのをしおに起き上がつて祖母あてに書き置きを記した。ごく簡単な文面だつた。

「大事なことを忘れていました。今夜、ぼくら孤児院のハーモニカ・バンドは米軍キャンプで慰問演奏をしなくてはならないのです。そのために急いで出発することになりました。ぼつちや、お元気で」

書き置きを机の上のせてから、ぼくは弟を揺り起した。

(井上ひさし「四十一番の少年『あくる朝の蟬』文藝春秋より)

(注) *1 菓種業……菓の材料を扱う業種。

*2 菓九層倍……菓の売価は原価に比べて非常に高く、大きな利益を得ているということ。

*3 マーキエロか正露丸……マーキエロ、正露丸はともに菓の名前。

*4 箱膳……一人分の食器を入れておく箱。食事の時は膳とする。

問一 傍線部 a 「願い下げ」、b 「食い扶持」の意味として最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号で答えなさい。

- a 願い下げ
- 1 要求を下げるなら応じてもいいということ
 - 2 願ってもない幸いということ
 - 3 提案を受け入れる準備があるということ
 - 4 要求は受け入れられないということ
 - 5 提案を取り下げること
- b 食い扶持
- 1 食わねばならないもの
 - 2 食べ物を買う金
 - 3 食べ物をそろえる条件
 - 4 食わせていかねばならない義務
 - 5 食べていくために助ける必要性

問二 傍線部①「叔父の声は震えていた」、傍線部②「叔父の声が少し低まった」について、それぞれの場面での叔父の心情をおさえながら、その変化および変化の理由を説明しなさい。

問三 傍線部③「それ」とあるが、どういうことが、わかりやすく説明しなさい。

問四 傍線部 A、B「強」とあるが、表現の説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号で答えなさい。

- 1 それ相応の時間の経過を表すとともに、兄弟をじやけんに扱う叔父の冷酷な性格を際立たせる効果を持っている。
- 2 それ相応の時間の経過を表すとともに、祖母の家で暮らしたいという兄弟の望みがはかなく消えたことを表す効果を持っている。
- 3 離れて暮らす母への追慕の情を表すとともに、大人たちの思惑に翻弄される兄弟の人生の苦難を象徴する効果を持っている。
- 4 離れて暮らす母への追慕の情を表すとともに、死んだ父に見守ってもらいたいという心情を象徴する効果を持っている。
- 5 死んだ父への追悼の思いを表すとともに、子どもを残して死ぬこととなった父の人生のはかなさを際立たせる効果を持っている。

問五 この小説の続きがどのようなになるか、クラスで話し合いをした際に左の1〜6のような意見が出た。適当な読みをしているものを1〜6の意見の中から一つ選び、その番号で答えなさい。

- 1 「あそこはいいところ」とか「急いで出発」と書かれているんだから、兄弟二人は孤児院に戻って楽しい気分でホームエカ演奏をしたと思うな。
- 2 「他に行くあてがないとわかれば」と書かれているから、うきうきした気分で孤児院に戻った、とは思えないわ。
- 3 二人は祖母の家で暮らしたかったのよ。未練があるはずよ。きちんと会って挨拶をして孤児院に戻ったんだと思うわ。
- 4 祖母を困らせたくなかった二人は、祖母に気づかれないように、そつと祖母の家を後にしたんじゃないかな。
- 5 冷し汁は二人の好物だったのよ。最後の朝、冷し汁をつくるのを祖母にお願いして、二人は孤児院に戻ったんだと思うわ。
- 6 祖母の家に残りがかったんだから、二人はきちんと叔父さんに自分の母のことも含めて謝ったんじゃないかな。

